

■女性特有がん検診無料クーポン券を送付します

桂川町では、令和6年4月20日時点で桂川町に住民票があり、初めて子宮頸がん検診、乳がん検診の対象となる年代に、検診費用が無料となる「無料クーポン券」、「がん検診手帳」を令和6年5月下旬に送付いたします。受診場所など詳しくは同封の案内チラシをご確認いただき、無料クーポン券に記載の有効期限内にご利用ください。

〈子宮頸がん検診無料クーポン券配布対象者〉

節目年齢	対象生年月日
20歳※	平成15(2003)年4月2日～平成16(2004)年4月1日

〈乳がん検診無料クーポン券配布対象者〉

節目年齢	対象生年月日
40歳※	昭和58(1983)年4月2日～昭和59(1984)年4月1日

※年齢は令和6年4月1日時点の年齢です。



日本人の2人に1人ががんを経験し、3人に1人ががんで亡くなっています。特に女性では、20～40代にかけて子宮頸がん、40代後半で乳がんの発症率が上昇します。がんになる可能性はだれにでもあります。自覚症状が出る前に、早期発見ができるのがん検診だけです。

どんな検診？

子宮頸がん検診：子宮頸部の細胞診検査
(生理中、妊娠中等受診できない場合があります)

ヘラやブラシのようなものを膈内に挿入し、子宮頸部の粘膜を軽くなでるようにして細胞を採取します。この時、少し出血する可能性はありますが、痛みなどを感じることは少ないです。採取した細胞を細胞診の専門家が顕微鏡で調べます。

乳がん検診：マンモグラフィ検査
(妊娠中、母乳が出ている方、乳房形成術をしている方等受診できない場合があります)

乳腺・乳房専用のレントゲン撮影です。透明の圧迫板で乳房を挟んで撮影するため、痛みを感じる方もいます。マンモグラフィ検査では、触ってもわからないような早期の小さな乳がんはもちろん、しこりを作らない乳がんを白い影や非常に細かい石灰砂の影として見つけることができます。

ブレスト・アウェアネスをご存じですか？

乳房を意識する生活習慣です。自分の乳房の状態に関心を持ち、乳がんの早期発見・診断・治療につながる正しい受診行動を身につけましょう。以下の4つの項目を実践しましょう。

- 自分の乳房の状態を知る(乳房のセルフチェック)
- 乳房の変化に気をつける(しこりや血性の乳頭分泌など)
- 変化に気づいたらすぐに医療機関へ行く
- 40歳になったら定期的ながん検診を受診する

もし、精密検査に該当したら？ ※精密検査費用は受診者負担

検診だけでは、がんの診断はできません。もし、「要精密検査」に該当した場合は、さらに詳しい検査を受け、がんかどうか判定されますので、必ず受診しましょう。